

IV-14

地域住民の「道の駅」利用実態と評価に関する分析

秋田工業高等専門学校 専攻科 学生員 ○児玉 勝
秋田工業高等専門学校 環境都市工学科 正 員 折田 仁典
建設省 東北地方建設局 秋田工事事務所 高橋 重道

1. はじめに

「道の駅」が多くの訪問客で賑わうためにはドライバーのみならず、地域住民も積極的に利用・活用することが望ましい。そのためには、地域住民にとってどのような施策を講じれば利用しやすいのか、あるいはどのような施設が望まれるのかなどの視点から検討を加え、住民が積極的に参加できる「道の駅」の環境づくりを進める必要がある。本研究は上述のような観点から、調査・分析を行ったものである。

2. 調査

調査は平成10年11月に秋田県の西目町と東由利町の住民を被験者として調査票を調査員が配布・回収し実施した。調査項目は個人属性、「道の駅」の利用状況、施設評価、「道の駅」の地域アイデンティティの具備度合などから構成した。調査票の回収結果は西目町で配布数600票、回収票数255票(回収率42.5%)、東由利町で配布数400票、回収票数288票(回収率72.0%)であった。

3. 地域住民の「道の駅」の利用状況

まず最初に「道の駅」を地元住民がどの程度利用しているかを分析した。図1は被験者が西目町住民、図2は被験者が東由利町住民の結果である。

「道の駅・にしめ」の利用頻度として最も多いものは「月に数回」(48.8%)で、次いで「年に数回」(26.2%)「週に数回」(20.7%)であり、「道の駅・東由利」の利用頻度として最も多いものは「週に数回」(39.5%)で、次いで「月に数回」(33.9%)「年に数回」(18.2%)であり、「道の駅・東由利」の方が地元住民の利用頻度が高くなっている。

図3および図4は地域住民の「道の駅」の利用目的の集計結果である。ここでの利用目的には「道の駅」そのものの施設以外に「道の駅」に併設されて整備されている周辺施設も含めて設定した。分析結果をみると、「道の駅・にしめ」の利用目的として最も多いものは「ウェルマート(スーパー)での買い物」(69.2%)であり、次いで「物産館での買い物」(49.0%)、「トイレ」(47.4%)である。分析からは、回答者の約7割が「ウェルマートでの買い物」のために「道の駅・にしめ」を利用していることが判明した。

一方、「道の駅・東由利」の最も多い利用目的は、「ふれあいプラザの利用」(71.0%)であり、次いで「遊楽里」の利用(55.5%)、「食事」(28.0%)である。約70%が利用目的と回答した「ふれあいプラザ」は食料品のみならず洋服、文房具なども販売しており、ゲームセンター、観光案内所もある複合的機能を保持する施設である。このため商

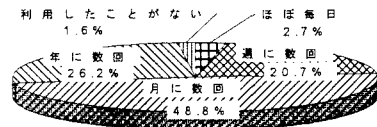


図1 「道の駅・にしめ」の利用頻度

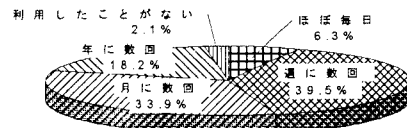


図2 「道の駅・東由利」の利用頻度

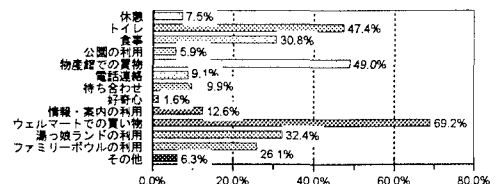


図3 「道の駅・にしめ」の利用目的

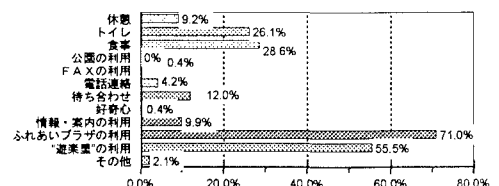


図4 「道の駅・東由利」の利用目的

業、娯楽施設の乏しいこの地域では唯一の「大規模店」として地域住民の高率利用となっているものと推測される。この傾向は西目町のも同様である。なお、両地域とも入浴施設(湯つ娘ランド、遊樂里)の利用も高率である。

4. 「道の駅」の地域への貢献度の評価

表1は住民による「道の駅」の評価について数量化理論第Ⅱ類を適用し、要因分析を行った結果である。評価項目は表に示す20アイテム、外的基準は「道の駅」の総合評価である。評価尺度はアイテムが「良い」「普通」「悪い」、外的基準が「非常に良い」「比較的良い」「悪い」の3段階である。

「道の駅・にしめ」において「総合評価」に最も影響を与えている項目は「案内標識の場所・見やすさ」(8.1239)であり、次いで「道の駅」の設置場所(4.7853)、「駐車場の広さ」(4.5755)、「トイレの清潔さ」(3.2302)、「情報の提供方法」(2.0905)の順となっている。これらの結果によれば、①「道の駅」の評価には、まずもって「道の駅」の場所の認知性、次いで各種情報の提供方法が影響するようである。一方、「道の駅・東由利」では「道の駅」の設置場所(2.6321)であり、次いで「道の駅」の規模(1.5962)、「トイレの整備」(1.5461)、「駐車場から道の駅内の各施設への距離」(1.5408)、「トイレの清潔さ」(1.2021)の順で評価に影響を及ぼしている。これを見ると②東由利町における「道の駅」評価は西目町とは若干異なり、「道の駅」施設そのものが利用者に視覚的認知されやすいか否かが強く影響している。なお、両地域に共通して総合評価に影響を与えている項目は「道の駅」の設置場所「トイレの清潔さ」である。

表2は住民による「道の駅」の地域への貢献度評価について数量化理論第Ⅱ類を適用し、要因分析を行った結果である。評価項目は表に示す8アイテム、外的基準は「道の駅」の地域への貢献である。評価尺度はアイテム、外的基準共に「非常に役立っている」「比較的役立っている」「役立っていない」の3段階である。

「道の駅・にしめ」において「地域への貢献」に最も影響しているものは「商業の活性化」(1.9442)であり、次いで「農業生産の向上」(1.0327)である。一方、「道の駅・東由利」では「地域への貢献」に最も影響しているものは「地域イメージの向上」(1.3561)であり、次いで「地域の特産品の宣伝」(0.9883)である。これらの結果によれば、西目町住民にとって「道の駅」が地域へ貢献していると認識するには、「商業の活性化」「農業生産の向上」といった地元産業の発展につながる事が重要であることが指摘される。また、東由利町住民では、「地域イメージの向上」「地域の特産品の宣伝」など観光によって「道の駅」が地域に貢献することが評価に関係しており、この点西目町住民の評価と異なっている。

5. まとめ

本研究では、地域住民の「道の駅」利用実態が把握されるとともに、地域発展に貢献しているとする認識構造が明らかにされた。今後は、「道の駅」の視認性の向上方策、情報提供手段などの分析を行う予定である。

表1 住民による施設評価の要因分析

アイテム	カテゴリ	にしめ		東由利	アイテム	カテゴリ	にしめ		東由利
		係数	レンジ	係数			係数	レンジ	係数
1 駐車場の出入りの容易さ	良い 普通 悪い	0.3824 0.6176 (0)	0.2354 0.5090 (0)	0.4833 0.5060 (0)	1 レストランのメニュー	良い 普通 悪い	0.4754 0.7425 (0)	0.3824 0.3056 (0)	0.3824
2 駐車場の広さ	良い 普通 悪い	-4.6755 -4.4440 (0)	4.5755 (0)	-0.3304 -0.1785 (0)	2 物産館の広さ	良い 普通 悪い	-0.0196 0.0960 (0)	-0.3371 -0.3381 (0)	0.3381
3 駐車場から道の駅内の各施設への距離	良い 普通 悪い	-0.1551 -0.1681 (0)	0.1551 -1.5408 (0)	-1.4456 -1.5408 (0)	3 物産コーナーの販売商品	良い 普通 悪い	0.1131 -0.1340 (0)	0.2471 -0.6052 (0)	0.6052
4 トイレの数	良い 普通 悪い	-0.1258 -0.4063 (0)	0.4063 (0)	0.2947 0.0496 (0)	4 物産品の価格	良い 普通 悪い	-1.2387 -1.2389 (0)	1.3267 0.1944 (0)	0.7498
5 トイレの清潔さ	良い 普通 悪い	3.2302 3.1604 (0)	3.2302 1.2021 (0)	1.0184 1.2021 (0)	5 情報の種類・量	良い 普通 悪い	-1.6275 -1.4311 (0)	-0.8231 -0.7441 (0)	0.8231
6 トイレの整備	良い 普通 悪い	-1.1365 -0.7611 (0)	1.1365 1.2223 (0)	1.5461 1.5461 (0)	6 情報の提供方法	良い 普通 悪い	1.7935 2.0905 (0)	0.3955 0.3972 (0)	0.3972
7 案内標識・駐車場への配慮	良い 普通 悪い	0.2037 -0.1692 (0)	0.3725 (0)	-0.0955 -0.1692 (0)	7 「道の駅」の設置場所	良い 普通 悪い	-4.6507 -4.7853 (0)	2.6321 2.6381 (0)	2.6321
8 駐車場の広さ	良い 普通 悪い	-0.2263 -0.0591 (0)	0.2263 (0)	-0.7241 -0.6639 (0)	8 案内標識の場所・見やすさ	良い 普通 悪い	8.1181 8.1239 (0)	-0.3994 -0.1077 (0)	0.3994
9 レストランの広さ	良い 普通 悪い	-0.0336 -0.1383 (0)	0.1383 (0)	-0.1119 0.4113 (0)	9 案内標識・物産館・トイレなどの施設の配置場所	良い 普通 悪い	-0.2731 -0.3900 (0)	0.3900 0.4763 (0)	0.7512
10 レストランの営業時間	良い 普通 悪い	0.0252 0.0121 (0)	0.0252 (0)	-0.4495 -0.6725 (0)	10 「道の駅」の規模	良い 普通 悪い	0.7068 0.7068 (0)	1.4821 1.5962 (0)	1.5962
相関係数		0.5505		0.5722					

表2 住民による「道の駅」の貢献度評価の要因分析

アイテム	カテゴリ	にしめ		東由利	
		係数	レンジ	係数	レンジ
1 観光・連絡情報の提供	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	0.0817 -0.2337 (0)	0.3154 (0)	0.1892 -0.0402 (0)	0.2264
2 地域住民への各種情報の提供	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	-0.9425 -0.2910 (0)	0.9425 (0)	0.6510 0.1966 (0)	0.6510
3 地域のイメージの向上	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	-0.5437 -0.0813 (0)	0.5437 (0)	1.3561 0.6687 (0)	1.3561
4 雇用の拡大	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	0.1464 -0.0025 (0)	0.1489 (0)	0.0253 0.3494 (0)	0.3494
5 地域の特産品の宣伝	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	-0.4080 0.1514 (0)	0.6503 (0)	0.9883 0.2706 (0)	0.9883
6 地域の特産品の販売	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	-0.5551 0.0107 (0)	0.5568 (0)	0.1693 0.3476 (0)	0.3476
7 農業生産の向上	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	0.9525 -0.0702 (0)	1.0327 (0)	0.2721 0.0315 (0)	0.2721
8 商業の活性化	非常に役立っている 比較的役立っている 役立っていない	-1.9442 -0.3561 (0)	1.9442 (0)	0.8952 0.1815 (0)	0.8952
相関係数		0.8202		0.5345	